

農学分野における人づくり協力

東京大学農学部とボゴール農科大学との協力の経験

東京大学大学院農学生命科学研究科
大賀 圭治

1 JICAプロジェクト

1. プロジェクトの概要

- ボゴール農科大学農産加工計画（プロ技）
- ボゴール農科大学大学院設備拡充計画（無償）
- ボゴール農科大学大学院計画（プロ技）
- ボゴール農科大学大学院計画アフターケア（プロ技）

2. JICAプロジェクトによる人づくり協力の問題点と今後の方向

2 拠点大学方式共同研究

1. インドネシアとの拠点大学方式による共同研究の概要

- 期間 平成10年度～19年度
- 開発に伴う環境変化と環境保全に関する研究
- 植物資源の持続的利用に関する研究
- 環境調和型の農業開発に関する社会経済学的研究
- 持続的生物資源管理システムに関する地域生態学的研究

2. 問題点と今後の方向

表3 ボゴール農科大学大学院計画概要および実績

プロジェクト名	ボゴール農科大学大学院計画（プロ技）	
実施期間	1988.04.01－1993.03.31	
プロジェクト対象	ボゴール農科大学農業工学部大学院	
上位目標	大学院教育および研究能力の向上を通じた、インドネシアにおける実際的な農業研究システムの改善	
プロジェクト目標	①共同研究による学術水準の向上 ②修士および博士学位の取得 ③ボゴール農科大学および関係研究期間の学術交流	
活動	①共同研究 ・作物生産圃場への農業機械利用の最適化 ・農業生産システム解析手法 ・労働科学と農作業体系学 ・エネルギーと農村電化 ・農業施設と材料強度学 ・農業への水文モデル最適化 ・インドネシアにおける灌漑と排水の有効利用 ・作物生産への圃場最適物理条件の評価 ・ポストハーベスト・テクノロジー ・食品工学 ②学術交流の実施 ・セミナー、ワークショップ、シンポジウムの開催	
投入実績	日本	インドネシア
人員	専門家派遣 長期 12名 短期 延べ33名	研修員受け入れ 延べ27名
予算	機材供与 約2億3,300万円 （内 専門家携行機材 約1,000万円） ローカルコスト負担 約1億300万円 モデルインフラ整備 約1.800万円	土地・建物（キャンパスと実験圃場、日本人専門家用事務室、教室と実験室、図書館、寄宿舎等） 運営費（研究開発、プロジェクト管理、教科書等作成、セミナー・訓練経費等） 約10億500万ルピア
組織	・JICA農開部農業技術協力課 ・外務省経済協力局技術協力第二課 ・文部省学術国際局企画連絡課 ・東京大学庶務部国際交流課 ・東京大学農学部	・教育文化省高等教育総局 ・ボゴール農科大学

（出典：国際協力事業団 評価管理室、「平成9年度 特定テーマ評価報告書－タイ・インドネシア農業分野高等教育－」P89、1998）

表4 ボゴール農科大学大学院計画アフターケア概要

プロジェクト名	ボゴール農科大学大学院計画アフターケア（プロ技）	
実施期間	1998.04.01－2000.03.31（予定）	
プロジェクト対象	ボゴール農科大学農業工学部大学院	
上位目標	大学院教育および研究能力の向上を通じた、インドネシアにおける実際的な農業研究システムの改善	
プロジェクト目標	ADAETの成果を助長し、発展させる	
活動	①供与機材の維持管理のための技術指導 ②農業工学分野における大学院生の研究活動の指導助言	
措置（予定）	日本	インドネシア
人員	専門家派遣 短期 2名程度 研修員受け入れ 数名	カウンター・パートに適当な人材の確保
予算	アフターケアに必要な最小限の機材	アフターケアに必要な施設・機材・サービス、運営費
組織	・JICA農開部農業技術協力課 ・外務省経済協力局技術協力第二課 ・文部省学術国際局企画連絡課 ・東京大学庶務部国際交流課 ・東京大学農学部	・教育文化省高等教育総局 ・ボゴール農科大学

（出典：国際協力事業団 評価管理室、「平成9年度 特定テーマ評価報告書－タイ・インドネシア農業分野高等教育－」P26－27、1997）